

技術概要書（様式）

※別紙2

出展技術の分類	安全・防災 インフラDX 維持管理 環境 コスト 品質	(該当分類に○を付記)	
技術名称	簡易張出式道路拡幅工法 ロードプラス	担当部署	営業戦略部
NETIS登録番号	SK-100002-VE	担当者	松本 光一郎
社名等	株式会社 ヤマウ	電話番号	092-872-3351
技術の概要	1. 技術開発の背景及び契機		
	近年、平成15年の道路構造令改訂に伴い、1.5車線の道路整備が進展し、狭小道路の局所的な拡幅ニーズが急増している。特に山間部や河川沿いの道路では、《山側の掘削が困難》《谷側に河川・水路等の制約が存在》《擁壁再構築による工期長期化・高コスト》といった課題により、従来工法では対応困難なケースが多い。これらを解決するため、既設構造物を有効活用し、短期間・低コストで道路拡幅を実現する技術として「簡易張出式道路拡幅工法 ロードプラス」が開発された。		
	2. 技術の内容		
	ロードプラスは、既設道路の路肩にプレキャスト製の張出しブロックを設置することで車道を拡幅する工法である。 ■ 主な特徴 ・最大1.75mの車道拡幅が短期間に行える。 ・既設擁壁を活用(再構築不要)することでトータルコストの縮減。 ・プレキャスト化製品を使用することで、仮設工事が低減できるほか、工期の短縮が図れる。 ・車両用防護柵(B種・C種)に対応しており、支柱取付用Pタイプ設置スパンにより、車両用と歩道用のどちらの防護柵にも対応できる。		
	3. 技術の効果		
	■ 工期短縮・省力化 ・擁壁再構築が不要 → 工程約42%短縮 ・施工人員削減 → 省人化約78% ■ コスト縮減 ・仮設工・土工の削減によりトータルコスト低減 ■ 環境負荷低減 ・山側掘削不要 → 自然環境への影響を最小化 ・河川・水路への影響低減 ■ 安全性向上 ・幅員確保により離合性向上 ・通学路等の安全確保に寄与 ■ 早期交通開放 ・短期間施工により交通規制の最小化		
4. 技術の適用範囲			
・山間部の狭小道路 ・河川・水路沿いの道路 ・既設擁壁上での拡幅が必要な箇所 ・用地制約が厳しい区間 ・カーブ部、交差点部の局所拡幅 ・通学路や生活道路の安全対策 ※特に 「山側掘削が困難」「谷側構造物に制約がある」現場に有効			
5. 活用実績			
・全国各地の公共工事で多数採用 (国土交通省・都道府県・市町村など) 実績件数 ・国土交通省:43件 (九州0件、九州以外43件) ・地方公共団体:約537件 (九州76件、九州外461件) ・民間:約36件 (九州0件、九州以外36件)			

6. 写真・図・表

施工手順



水路沿い道路を広くした



狭小道路を離合できるようにした



諫早市役所 厚生町仲沖線改良工事



長崎振興局 一般国道499号改良工事

